

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 1-6

局・課名： 建設局・土木監理課

事業名	交通安全施設設置事業(地域整備事務所)			事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額			
					150,855	187,543	376,740			
事業概要	【目的】	<p>道路の交通安全施設を充実及び更新し、市民の道路利用時における安全性を向上させることを目的とする。国道及び市道における交通安全対策を、道路区域内において実施する。生活道路としての利用や、通勤通学路として市民の生活に密着した歩道の整備や改良工事を行う。また、道路照明や転落防止柵等の安全施設を充実し、道路の安全性の向上に努める。</p> <p>生活道路としての利用や、通勤通学路として市民の生活に密着した歩道の整備や改良工事を行う。また、道路照明や転落防止柵等の安全施設を充実し、道路の安全性の向上に努める。</p> <p>新金岡地内にある新金岡20号線の当該事業区間は、集合住宅内を周回する道路の一部であり通学路にも指定されている。現状の交差点はその形状から通過車両の速度も速く、交差点内での車両間の交錯も多いため、ラウンドアバウト(※注1)とすることで、車両の速度抑制を図るとともに、車両間の交錯を減少させる。さらに、既設横断歩道部で死亡事故も発生していることから、これをハンプ(※注2)化し、スムーズ横断歩道とすることで、車両の速度抑制に加えて、円滑な横断歩行を支援し、歩行者の安全確保を図る。H30年度は、南東側の交差点を円形交差点に改良し、そのすぐ西側の横断歩道をスムーズ横断歩道(※注3)に改良する。H31年度は、南西側の交差点を円形交差点に改良し、そのすぐ東側の横断歩道をスムーズ横断歩道に改良する。 円形交差点N=1か所 スムーズ横断歩道 幅員 W=3.0m 延長 L=7.0m</p>			期間		要求額(千円)			
	【内容】				H ~ H					
	【今年度要求のポイント】				主要要求内容 (単位:千円)					
					項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
					工事費	171,800	337,000	円形交差点・スムーズ横断歩道		
					委託料	5,100	29,100	交差点設計・縦横断測量		
					原材料費等	10,643	10,640			
					合計	187,543	376,740			
					スケジュール(経過及び今後展開)					
					【経過(～29年度)】	【30年度】		【今後予定(31年度～)】		
	測量・設計・警察協議	東側交差点の改良工事 西側交差点の測量・設計		西側交差点の改良工事						
	その他 特記事項									
	みんなの審査会対象外 (※注1)駅前のロータリーのような円形の交差点のうち、環道を走行する車両が優先され、かつ信号等により通行が中断されないものをラウンドアバウトという。 (※注2)車両の速度抑制を目的として、道路区間に設ける「凸部」をハンプという。 (※注3)道路区間に設置された横断歩道をハンプ化すると、スムーズ横断歩道となる。一般的に、歩道は車道部より高くなっていることから、歩道部を車道高さまで切り下げる必要があるが、スムーズ横断歩道の場合切り下げる必要がないので、横断者はスムーズに車道を横断することができる。車いす利用者や、高齢者にとって、バリアフリー化の効果がある。									